

会 議 録

会 議 名	第 2 6 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 3 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	令和 2 年 1 0 月 6 日 (火) 午前 1 0 時～正午		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室 C D		
出 席 委 員	閑野委員、林委員、原委員、福田委員、本多委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	村山分館長、伊藤副分館長、野津、水本		
傍聴の可否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 第 3 5 期小金井市公民館運営審議会第 8 回審議会</p> <p>(2) 講座 (開催前)</p> <p>①コロナ禍における特別主催事業 フリースペースの活用 「きたまち学びといこいのひろば」</p> <p>②市民講座 一般教養や専門的知識</p> <p>③市民講座 地域福祉のための講座 「パラリンピック正式種目のボッチャを楽しもう」</p> <p>④成人学校 地域研究講座「くにたち大学町の成り立ちと駅舎」</p> <p>⑤成人学校 子ども・子育て支援「地域で子育て・孫育て」</p> <p>⑥成人学校 子ども・子育て支援 「うちの子これで大丈夫?—子どもの発達とコミュニケーションを知ろう!—」</p> <p>⑦成人学校 子ども・子育て支援 「親子で過ごすおうち時間のコミュニケーション」</p> <p>(3) 講座 (開催中)</p> <p>①高齢者学級 市内の公民館 5 館の共通講座「はなみずき学級」</p>		

	<p>②陶芸入門 陶芸入門教室「陶芸入門教室」</p> <p>③成人学校 きたまちセンターの花づくり・緑化活動 「きたまちセンターの花サポーター講座」</p> <p>④成人学校 健康づくり講座 「おうち時間で楽しむ初めての俳句」</p> <p>⑤市民講座 認知症カフェぬくいきた 「家族介護相談会」 「アウトドア認知症カフェ」</p> <p>(4) 講座 (開催後)</p> <p>①成人学校 健康づくり講座 「描いて楽しむ送って楽しむはがきサイズの色鉛筆画」</p> <p>②成人学校 子ども・子育て支援「子育てパパの高尾山登山講座」</p> <p>③青少年教育事業 健全育成事業 「高校生が作ったドキュメンタリー映画『日本一大きいやかんの話』を観て語ろう！」</p> <p>④図書館貫井北分室との連携事業 「いのちを守るゲートキーパーになろうーゲートキーパー養成講座ー」</p> <p>⑤文化活動事業 利用団体のつどい 「第6回貫井北センターまつり第1回実行委員会」</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 男女共同参画事業</p> <p>①男女共同参画講座</p> <p>次回日程 令和二年11月17日(火) 午前10時から</p>
--	--

1 報告事項

(1) 第35期小金井市公民館運営審議会第8回審議会

- ・9月17日(木)開催。
- ・コロナの状況を鑑み、本館職員と公民館運営審議会委員のみで行われていたが、9月から各分館長も出席。
- ・小金井市公民館中長期計画の素案が2年かけて完成。
- ・傍聴者は5人。

(2) 講座(開催前)

①コロナ禍における特別主催事業 フリースペースの活用

「きたまち学びといこいのひろば」

- ・フリースペースは閉鎖が続いているが、市民や議員から開放の要望が出ていた。
- ・10月7日(水)からフリースペースの活用をコロナ禍における特別主催事業として開催することを決定。
- ・人数制限をし、2時間単位の利用で、午後5時まで。
- ・小学生は登録制とする。

②市民講座 一般教養や専門的知識

- ・ウィルスや公衆衛生に関する講師を選定中。

③市民講座 地域福祉のための講座

「パラリンピック正式種目のボッチャを楽しもう」

- ・認知症に対する対応という方向で考えていたが、変更し、ボッチャの体験とする。
- ・1月14日、2月4日、2月25日（木）に開催。
- ・講師は小金井でボッチャを広める活動をしている方。
- ・密にならない配置を心掛け、北町ホールで定員を10人とする。
- ・担当企画実行委員は、閑野委員、原委員。

④成人学校 地域研究講座「くにたち大学町の成り立ちと駅舎」

- ・10月19日、26日（月）午前10時～正午開催。
- ・10月2日（金）から申し込み開始で定員18人のところ9人。男性5人、女性4人。
- ・担当企画実行委員は閑野委員。

⑤成人学校 子ども・子育て支援「地域で子育て・孫育て」

- ・10月8日（金）午前10時～正午に開催。
- ・9月2日（水）から申し込み開始で定員8人のところ2人。女性2人。保育希望はなし。引き続き広報を進める。
- ・保育サポーターの研修として追加で参加予定。
- ・担当企画実行委員は、閑野委員。

⑥成人学校 子ども・子育て支援

「うちの子これで大丈夫？ー子どもの発達とコミュニケーションを知ろう！ー」

- ・11月6日、11月20日（金）午前10時～正午に開催。
- ・10月2日（金）から申し込み開始で定員8人のところ4人。うち同室保育が1件あり、部屋の定員の都合上、講座受講の定員は7人となる。
- ・担当企画実行委員は、閑野委員。

⑦成人学校 子ども・子育て支援「親子で過ごすおうち時間のコミュニケーション」

- ・12月3日、1月14日（木）、2月15日、3月8日（月）午前10時～正午に開催。
- ・12月、1月の講師は東京学芸大学准教授の福井里江さん、2月、3月の講師は東京学芸大学特任准教授の山崎寛恵さん。
- ・各回募集。コロナ禍で、自宅で過ごす時間が増えた子育て世代の一息できる場の提供が目的の一つ。
- ・11月2日（月）から申し込み開始。

(3) 講座（開催中）

①高齢者学級 市内の公民館5館の共通講座「はなみずき学級」

- ・9月4日（金）から定員20人で始まった。参加率がよい。
- ・今年度は班当番がなく、企画実行委員が会場の準備等。社会教育実習生も参加。
- ・12月まですべて座学。
- ・1回目の津軽三味線の講師の回では音の大きさや部屋の定員人数の問題について

もう一度考えるきっかけとなった。

②陶芸入門 陶芸入門教室「陶芸入門教室」

- ・10月5日（月）から全6回の講座が始まった。
- ・各テーブル2人掛けとし、定員8人。
- ・例年、材料費は2750円程度だが、今年度は受講者が8人と少ないため、材料費は5000円。
- ・講師が指導しやすい人数となった。
- ・担当企画実行委員は、原委員。

③成人学校 きたまちセンターの花づくり・緑化活動

「きたまちセンターの花サポーター講座」

- ・9月9日（水）から全8回の講座が始まった。
- ・最終回の野外研修は感染症拡大の状況を鑑み、中止とする。
- ・初回の土の再生は、暑さが厳しかったので、創作室でブルーシートを敷いて行った。
- ・次回から班に分かれて活動が開始となる。
- ・担当企画実行委員は、閑野委員、原委員。

④成人学校 健康づくり講座「おうち時間で楽しむ初めての俳句」

- ・定員ぴったりの30人での開始。
- ・はがきで講師とやり取りする方式で、全6回。
- ・外出ができない人の応募があり良かった。
- ・コロナ禍での講座は定員を減らさなければならないが、通信での開催では減らさずにできる利点がある。
- ・担当企画実行委員は、原委員。

⑤市民講座 認知症カフェぬくいきた

- ・9月17日（木）の「家族介護相談会」では2組の申し込み。1組は急な介護で欠席。
- ・10月5日（月）の「アウトドア認知症カフェ」では14人が参加。参加者はアウトドアの方式に慣れてきた様子。
- ・「アウトドア認知症カフェ」での参加者の様子がわかるよう、職員も一緒に回る方がよいと判断。
- ・次回の「アウトドア認知症カフェ」は11月2日（月）。

（4）講座（開催後）

①成人学校 健康づくり講座「描いて楽しむ送って楽しむはがきサイズの色鉛筆画」

- ・8月11日、9月8日（火）全2回で開催。
- ・定員は8人。男性1人、女性7人の参加。
- ・1回目と2回目の間に宿題が出た。
- ・参加者は熱心で、集中力があつた。継続を希望する声もあつた。
- ・塗り絵方式であったが、自分で絵を描くことから始めたいという人もいた。
- ・講師は集会施設でも講師をしている。
- ・担当企画実行委員は、林委員。

②成人学校 子ども・子育て支援「子育てパパの高尾山登山講座」

- ・ 9月27日（日）午前8時高尾山に集合で開催。
- ・ 定員8人。30代から40代のお父さんの参加。
- ・ メールでの受付もしたことで、働いている人との連絡が取りやすかった。
- ・ 講師は国際山岳ガイドで、登山の持ち物の説明から始まり、参考になった。
- ・ 家庭に知識を持ち帰るという意識が強く、講座の目的が達成された。
- ・ 運動不足の人が多く、体を動かす企画を望んでいるという声が聞けた。
- ・ 担当企画実行委員は、閑野委員、原委員。

③青少年教育事業 健全育成事業

「高校生がつくったドキュメンタリー映画『日本一大きいやかんの話』を観て語ろう！」

- ・ 10月4日（月）午後1時～3時30分開催。
- ・ 10人募集があり、当日は中学生2年生から20代の専門学校生の4人が参加。男性1人、女性3人。
- ・ 高校生がチームでつくったドキュメンタリー映画を観てから、製作者、製作のきっかけとなった社会科の古家正暢先生、参加者と語る講座。懇親会の司会は古屋先生。
- ・ 「やかん」とは、福島第一原子力発電所のこと。取材を重ね、メッセージ性の高い作品だった。
- ・ 今回は参加者を青年にしぼったが、年代問わず若者のつくった映画を観るのもよいのではないか。
- ・ 担当企画実行委員は、本多委員。

④図書館貫井北分室との連携事業

「いのちを守るゲートキーパーになろうーゲートキーパー養成講座ー」

- ・ 9月27日（日）午前10時～正午開催。
- ・ 定員23人のところ、14人の申し込み。保育の申し込みは1人。
- ・ 講師はいのちの電話事務局長の2人。
- ・ 小金井市は全国的に見ても自殺者が多く、9月は自殺対策強化月間ということもあり開催。
- ・ ロールプレイ形式で実演もある講座。
- ・ 多様性を大切にしていかななくてはいけない今、アンケート等で性別欄の記載方法を考え直す必要があるエピソードもあった。

⑤文化活動事業 利用団体のつどい「第6回貫井北センターまつり第1回実行委員会」

- ・ 昨年度の第6回貫井北センターまつりは新型コロナウイルスの影響で直前に中止が決まった。
- ・ 9月6日（日）に昨年度の参加予定者が集まり、今年度の貫井北センターまつりも中止と決定。

2 審議事項

(1) 男女共同参画事業

①男女共同参画講座

- ・ 先月、様々な立場から見た「トリセツ」の講座を検討することになったが、「妻の

トリセツ」と「夫のトリセツ」の講師選定が進まないため、テーマの変更を考えている。

- 今だからこそできる、募集人数の少ない講座を開催したいが、プライベートすぎるものはドアを開けた状態での講座進行を考えると難しいのではないか。
- 来月以降再び検討することにする。

以上